

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸高等支援	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	朝の会		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に朝の会の司会をする。 ・タブレット端末を利用して、友達とコミュニケーションをとる。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	3 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 簡単な言葉でやり取りできる生徒やカードでやり取りできる男子生徒3名（通学生）で構成されている。個別対応が必要な活動が多いが、予定表やカードを見て一人でできる場面もある。環境や気分によって気持ちが不安定になり、大きな声を出したり、教師を叩いたりする等、不適切な行動をとったりする生徒がいるため、環境の整備や予定の変更には十分に気を付けている。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 タブレット端末（iPad）		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 ドロップトーク	アプリマーク	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	音声の出力により、友達とコミュニケーションを図る。 一人で朝の会の進行ができる。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 朝の会に活用した。10個の項目を並べ、分かりやすくイラストや実際の写真を押すアイコンに設定して取り組んだ。			